

令和 8 年度「矢作デマンド」運行計画について

1 はじめに

「矢作デマンド」は、矢作地域の移動に関する地域課題の解決を目的とし、令和 5 年 1 月 16 日から道路運送法第 21 条第 2 項の規定に基づく乗合型予約タクシー（一般乗合旅客自動車運送事業）として実証運行してきたが、乗合率が地域内交通の手引き「みんなでつくる 地域の交通」に目安として示された運行継続基準に達しないことや、一人一回あたりの市負担額が市内路線バスに比べて高額であることから、本格運行への移行は認められない状況である。

しかし、地域の移動の足として日常生活において矢作デマンドを必要としている利用者も存在することから、直ちに矢作デマンドの運行を終了することは難しい。そこで、現在の矢作デマンドの課題を少しでも解消した形として、「空きタクシーの活用」で矢作デマンドの運行を暫定的に継続することを検討し、令和 8 年度運行計画（R8. 4～R9. 3）を地域協議会である矢作デマンド推進会議にて作成したため、岡崎市地域公共交通会議に置いて協議し、運行計画を決定する。

(1) 協議事項	令和 8 年度「矢作デマンド」運行計画（案）について
(2) 運行期間	令和 8 年 4 月 1 日（水）～令和 9 年 3 月 31 日（水）
(3) 変更内容	下記のとおり
(4) 協議状況	令和 7 年 12 月 10 日 第 4 回岡崎市地域公共交通会議 令和 8 年 1 月 20 日 矢作デマンド推進会議 令和 8 年 2 月 10 日 矢作デマンド推進会議 令和 8 年 2 月 24 日 第 5 回岡崎市地域公共交通会議 【本日】

令和 7 年度からの事業内容の変更点について

	変更後（R8. 4～R9. 3）	現況（R7. 4～R8. 3）
運行方法	空きタクシーの活用	タクシーの借上げ
運行根拠及び 運行事業者	市内に本社を有し、道路運送法第 3 条第 1 号ハの一般乗用旅客自動車運送事業を行う事業者のうち、市の募集に対して参画を希望した事業者	道路運送法第 21 条第 2 項の実証運行 現在の運行事業者 岡陸タクシー(株)、名鉄岡崎タクシー(株)
乗合	通常のタクシーと同様	利用者の乗合が可能
事業主体	岡崎市	岡崎市及び名古屋鉄道株式会社
運賃	各エリア内の移動：1 乗車 300 円 隣接エリアへの移動：1 乗車 500 円	各エリア内の移動：1 人 1 乗車 300 円 隣接エリアへの移動：1 人 1 乗車 500 円
運行事業費	1 運行あたり、通常のタクシー運行でかかった費用（メーター運賃）と迎車代を足した額から、矢作デマンドの運賃を差し引いた額、及び事務手数料とする。	1 日 1 台あたりの運行事業費とし、運行事業費の内訳は運行経費、予約配車業務及び付加業務（報告書作成等）とする。
会員登録	岡崎市	名古屋鉄道株式会社
予約先	運行事業者	名古屋鉄道株式会社
会報誌の発行	矢作デマンド推進協議会	名古屋鉄道株式会社

2 次年度の「矢作デマンド」運行計画について

(1) 目的	矢作地域における「日常生活の移動手段の確保」
(2) 運行日	月・火・水・金
(3) 運行時間	9:00～14:00
(4) 送迎対象	会員登録した者及びその同乗者
(5) 会員条件	矢作地域の在住者であり、自力で予約並びに停留所まで移動及び乗降をすることができる者
(6) 営業区域	矢作地域
(7) 運賃	各エリア内の移動 : <u>1乗車 300円</u> 隣接エリアへの移動 : <u>1乗車 500円</u>
(8) 停留所	北エリア 43箇所/中央エリア 109箇所/南エリア 47箇所
(9) 移動ルール	停留所間の移動のみ可能とする。 以下の移動制約ルールに該当する移動は禁止とする。 ①隣接しないエリアの移動 ②幹線バス系統のバス停留所 300m 圏域内どうしの移動 ③名鉄バス岡崎・安城線のバス停留所 300m 圏域内どうしの移動 ④名鉄バス岡崎線のバス停留所 300m 圏域内どうしの移動
(10) 予約方法	電話予約（ <u>運行事業者の営業時間内</u> ）
(11) 運行車両	<u>運行事業者の所有するタクシー車両を使用し、運行事業者の通常の営業に支障のない範囲で運行を行う。</u> <u>※運行事業者の都合によっては、予約が取れないことがある。</u>
(12) 事業主体	<u>岡崎市</u>
(13) 運行事業者	<u>参画意向を示した事業者</u>

・詳細は資料 2-2 令和 8 年度「矢作デマンド」運行計画（案）より

3 今後について

- ・運行計画が決定次第、速やかに地域への周知を行うものとする。
- ・「空きタクシーの活用」への変更は、矢作デマンドの運行を継続するためのあくまで暫定的な措置であり、令和 8 年度に巡回バスや共助交通等を活用した矢作地域の移動ニーズにあった最適な交通モードを検討し、早期の実証運行の開始を目指す。

